

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	大丹波圏域広域観光活性化計画											
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	兵庫県											
計画の目標	大丹波圏域において、北近畿豊岡自動車道や舞鶴若狭自動車道、平成27年度に全線開通した京都縦貫自動車道を軸として、観光拠点間のアクセス強化等により周遊観光を促進し、観光エリアとしての魅力を高め、広域的な地域の活性化を目指す。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,086	A	7,086	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27	H29末	H32末
1	【兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数1400万人(H27)から1469万人(H32末)に増加(69万人(5%)の増加)			
	【兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H27年度時点の年間観光入込客数) / (H27年度時点の年間観光入込客数) H26年度実績	1400万人	1442万人	1469万人
2	【兵庫県 単独目標】 観光入込客数430万人(H27)から451万人(H32末)に増加(21万人(5%)の増加)			
	【兵庫県 単独目標】 丹波市・篠山市における観光入込客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H27年度時点の年間観光入込客数) / (H27年度時点の年間観光入込客数) H26年度実績	430万人	443万人	451万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
全体事業費に占める効果促進事業費(提案事業)割合は、0%となる。 その他事項については、備考-1に記載。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	国道	改築	(国)372号 丹南バイパス	バイパス L=1.0km	篠山市						299	-	
	A11-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府県道	改築	(主)篠山山南線 川代工区	バイパス L=2.1km	篠山市						1,747	-	
	A11-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府県道	改築	(主)春日栗柄線 野瀬工区	現道拡幅 L=1.1km	丹波市						560	-	
	A11-004	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府県道	改築	(主)西脇篠山線 味間工区	バイパス L=1.2km	篠山市						980	-	
	A11-005	河川	一般	兵庫県	直接	兵庫県	一級	改良	(一)竹田川 市島工区	井堰2基、市の貝川合流点処理	丹波市						2,700	-	
	A11-006	河川	一般	兵庫県	直接	兵庫県	一級	改良	(一)加古川 氷上工区	河川改修 L=1.6km	丹波市						800	-	
											小計						7,086		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						7,086		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本整備計画の連携先である京都府と本整備計画作成主体である本県道路主管課において相互に調整を行い、実施する。	令和4年5月
	公表の方法
	インターネット（兵庫県HP）での公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県道篠山山南線のトンネル整備により、幅員狭小箇所等が解消され、交通の流れもスムーズとなったことで、拠点施設である丹波電化石工房「ちーたんの館」への移動時間が約1.3分短縮されるなど、観光客等の移動の利便性が向上したと考えられる。</li> <li>・ 県道春日栗柄線の現道拡幅により、幅員狭小箇所等が解消され、交通の流れもスムーズとなったことで、拠点施設である黒豆の館や篠山城跡への移動時間が約4分短縮されるなど、観光客等の移動の利便性が向上したと考えられる。</li> <li>・ (一) 竹田川（市島工区）の井堰1基の改築（河積障害物の改善）により、洪水時の水位を低下させることで、拠点施設である西山酒造への浸水被害を軽減したと考えられる。</li> <li>・ (一) 加古川（氷上工区）の河川改修（堤防強化）により、堤防の安全性を確保し、拠点施設である氷上さくら公園の治水安全度を向上できたと考えられる。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>未完成の事業については引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、観光拠点へのアクセス道路などの基盤整備を進める。</p> <p>【未完成事業】</p> <p>A11-004（主）西脇篠山線 味間工区</p> <p>A11-005（一）竹田川 市島工区</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	兵庫県、京都府における観光入込客数		
	最終目標値	1469万人	【兵庫県】R2実績値：3,634（千人）県道篠山山南線や県道春日栗柄線の整備等により、安全で円滑な交通を確保し、拠点施設へのアクセス性が向上したと考えられる。また、竹田川や加古川の整備により拠点施設や周辺地域の治水安全度が向上したと考えられる。令和元年度の実績は507万人と基準年度430万人に比べて18%増加していたが、最終目標の評価時期である令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止による2度の緊急事態宣言発令や外出自粛の影響で、多くの施設でイベントの中止や臨時休業したことを受け、実績は363万人と基準年度430万人に比べて減少し、目標達成には至らなかった。【京都府】R2実績値：7,984（千人）南丹市園部町南八田地内における国道372号の現道部については、幅員狭小・線形不良区間を有しており、バスや自家用車等の通行に支障を来していたが、バイパス整備を行うことにより、交通の安全が確保され、観光周遊に関する利便性も向上したと考えられる。令和元年度の実績値では1,271万人となったものの、最終目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績は798万人と基準年度1,018万人に比べて減少し、目標達成には至らなかった。
2	丹波市、丹波篠山市における観光入込客数		
	最終目標値	451万人	県道篠山山南線や県道春日栗柄線の整備等により、安全で円滑な交通を確保し、拠点施設へのアクセス性が向上したと考えられる。また、竹田川や加古川の整備により拠点施設や周辺地域の治水安全度が向上したと考えられる。令和元年度の実績は507万人と基準年度430万人に比べて18%増加していたが、最終目標の評価時期である令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止による2度の緊急事態宣言発令や外出自粛の影響で、多くの施設でイベントの中止や臨時休業したことを受け、実績は363万人と基準年度430万人に比べて減少し、目標達成には至らなかった。【主な拠点施設における観光入込客数】丹波亀化土工房「ちーたんの館」（H26：36千人、R2：59千人）、黒豆の館（H26：88千人、R2：93千人） 拠点施設については、基準年度に対して増加したが、丹波市、丹波篠山市エリアでは減少となった。
最終実績値	363万人		

計画の名称	1 大丹波圏域広域観光活性化計画	交付対象	兵庫県 (京都府と連携)
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)		

